

「自分から」「自分たちで」

「冬休みのたからもの」

2 年 はせべあかね

わたしの冬休みのたからものは、お手つだいをがんばったことです。そのお手つだいというのは、毎日のおふろあらいと、ポストの手紙とりです。おふろあらいでは、すみずみまでスポンジであらうことで、キュッキュと音になるくらいきれいになりました。そんなきれいなおふろにあったかいおゆを入れて、家ぞくみんなで入りました。とてもきもちよかったです。

(始業式代表作文より抜粋)

「冬休みにがんばったこと」

2 年 ふじい ゆな

わたしが冬休みにがんばったことは、二つあります。一つ目は、大そうじです。わたしは、ゆかのぞうきんがけをたん当しました。「一、二、三。」とかけ声をかけて、すみからすみまでみがきました。わたしは、ぞうきんがまっくろになるくらいがんばるという気持ちでやりました。おかあさんに、「ゆかがピカピカになったね。おそうじ名人だね。」とほめられました。わたしは、きれいになったへやを見て、よくがんばったなと思いました。

(始業式代表作文より抜粋)

3 学期の始業式に、2 年生の二人が児童代表として作文を読んでもくれました。堂々として立派な発表でした。何よりうれしかったのは、冬休みに私から出した宿題のお手伝いを実行してくれたことです。2 年生の子がお風呂洗いをするのは大変だったでしょう。それでもやりきったからこそ、その日家族で入ったお風呂の気持ち良さは格別だったのだと思います。もう一人の雑巾がけを手伝った子は、お母さんに「お掃除名人」だとほめられて、自分も役に立っていると実感したのだと思います。



始業式で子どもたちには、こんな話をしました。「おうちの人や先生に言われてからではなく、自分から行動できる人になりましょう」と。いちいち人に尋ね、他人の指示がなければ動けないような主体性のない人間ではなく、「自分で判断し行動できる」そんな人に育てることが学校の目指すところです。

私は、人が「自分から」そして「自分たちで」行動する時は、二つあると思います。一つは、「自分の行動が他者を喜ばせることができる」と役に立った自分に自信を持つ時です。冬休みにお手伝いした二人はまさにそうです。もう一つは、困難に遭遇したり不便を感じたりする時です。そうした状況を克服し脱するために、自分から知恵を絞ったり、自分たちで仲間と協力したりと行動を起こすのだと思います。

しかし、我々大人は、「つらい目をさせたらかわいそう」と子どもより先に手を打ったり、「言うことを聞きなさい」といつまでも大人の指示通りに子どもを動かそうとしたりして、結局は子どもの挑戦意欲を奪っていることがあります。主体的な子どもたちを育てるために、我々大人が心がけることは、「信じてまかせる」ことです。

2月の主な予定

1	水	アルミ缶回収	学校保健安全委員会
2	木	大縄大会	
3	金	P T A授業参観・懇談会 読み聞かせ	P T A臨時総会
7	火	新1年生入学説明会	
8	水	フッ素 レインボーリング	
9	木	大縄大会	委員会
10	金	交通当番	全校読書 学費引落
13	月	絆の日	
15	水	フッ素 児童集会	
17	金	全校読書	確かめテスト(計算)
21	火	見守り感謝の会	民生児童委員訪問
22	水	フッ素	P T A新旧役員引継会
23	木	委員会	
24	金	全校読書	確かめテスト(漢字) 6年生ありがとうの会
27	月	交通立番	

3月の主な予定

1	水	アルミ缶回収	通学班会
2	木	3年文化の森見学	
3	金	読み聞かせ	P T A役員反省会 家庭教育学級閉級式
6	月	図書貸出終了	
8	水	図書返却完了	レインボーリング
9	木	委員会(最終日)	
10	金	交通立番	全校読書
13	月	絆の日	
14	火	3年生とうふ作り	
15	水	フッ素 児童集会	学年会計監査
17	金	ロング掃除(ワックスかけ)	
22	水	交通立番	卒業式準備
23	木	卒業式	11:45一斉下校 給食なし
24	金	修了式、離任式	11:40下校 給食なし
27	月	学年末休業日	P T A会計監査

P T A臨時総会 2月3日(金)【13:00 授業参観、14:10 臨時総会、14:50 学年懇談会】

授業参観日にあわせて、P T A臨時総会を行います。多くの皆様からいただいたご意見を踏まえて作った新しいP T A組織の原案をお示しし、P T A会員の皆さんから承認いただく大変重要な総会です。できる限りご都合を付けてご出席くださいますようお願いいたします。

寒さなんかに、負けないぞ！

現在、富加小学校では2月9日(木)に行われる「大縄大会」に向けて、全校で8の字跳びに取り組んでいます。1月下旬には朝の気温がマイナス5℃くらいになる厳しい寒さが続きましたが、そんな中でも子どもたちは外に出て、クラスのみんなと元気に声を出して取り組んでいます。

とはいうものの、縄跳びが得意な子もいれば苦手な子もいます。なかなか思うように跳べず、記録が伸び悩むこともあります。子どもたちは「寒さ」だけでなく、「自分の技術を向上させるための壁」や「うまく跳べない子も含めてクラス全体で記録を伸ばしていくための壁」に向かって、担任と子どもたちがその壁を乗り越えようと懸命に練習に取り組んでいます。そんな取組を通して、子どもたちの心はたくましく成長しています。

